

製品名: PTEN (リン酸化 Ser370) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05311**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	PTEN PTEN; MMAC1; TEP1; Phosphatidylinositol 3; 4,5-trisphosphate 3-phosphatase and dual-specificity protein phosphatase PTEN; Mutated in multiple advanced cancers 1; Phosphatase and tensin homolog
別名	
遺伝子 ID	5728.0
SwissProt ID	P60484
免疫原	抗血清は、Ser370 のリン酸化部位周辺のヒト PTEN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 355-385

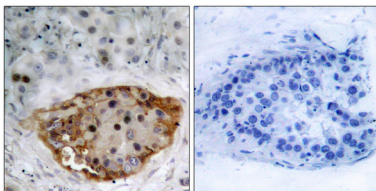
背景

腫瘍抑制因子。二重特異性タンパク質ホスファターゼとして作用し、チロシン、セリン、およびスレオニンリン酸化タンパク質を脱リン酸化します。また、脂質ホスファターゼとしても作用し、ホスファチジルイノシトール 3, 4, 5-トリスリン酸、ホスファチジルイノシトール 3, 4-ジリン酸、ホスファチジルイノシトール 3-リン酸、およびイノシトール 1, 3, 4, 5-テトラキスリン酸からイノシトール環の D3 位のリン酸を除去します。in vitro における基質選択性は、 $\text{PtdIns}(3, 4, 5)\text{P}_3 > \text{PtdIns}(3, 4)\text{P}_2 > \text{PtdIns}3\text{P} > \text{Ins}(1, 3, 4, 5)\text{P}_4$ の順です。

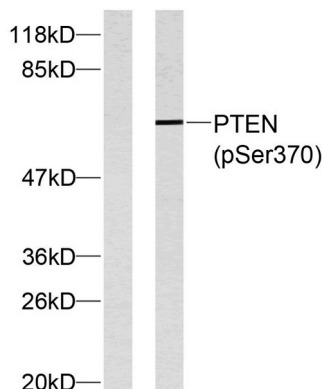
研究分野

インスリン受容体; 微小管調節; B 細胞受容体; mTOR; PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

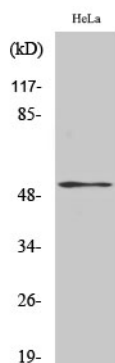
画像データ



PTEN (リン酸化 Ser370) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は PTEN (リン酸化 Ser370) ペプチドでブロッキングした画像です。



PTEN (リン酸化 Ser370) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは PTEN (リン酸化 Ser370) ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 PTEN (S370) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析